



社会福祉法人 ときわ病院
ときわ病院

ときわ便り

2026年
10月号
VOL.39

病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし
「人権擁護の精神」を尊重し
社会福祉法人としての伝統と、
人間愛の精神をもって運営します

「行動制限」を体験して学ぶ

～患者さんに寄り添える精神科医療を目指して～

精神科医療では、患者さんの病状によっては、やむを得ず隔離や身体拘束などの行動制限を行う必要が生じる場合があります。ときわ病院では行動制限の最小化に向けて、体験型の研修を行いました。

研修では職員が実際に隔離室に入ったり、拘束具を装着するなどし、患者さんが置かれる状況を体験しました。実際に体験することで書面や知識だけでは分かりにくい、身体を自由に動かせない苦痛や、拘束されることへの不安や不快感、周囲の状況が分からないことによる戸惑いなどを、身をもって考える機会となりました。



～体験で得た学びを、日々の実践へ～

今回の体験を一過性の研修で終わらせることなく、「もし自分がこういう状況に置かれたら」という視点を、日々の看護・支援に生かしていくことが大切です。患者さんの尊厳と人権を守りながら、できる限り行動制限を最小限にするために、一人ひとりの職員が考え、チームでより良い精神科医療を目指していきます。

災害時の精神科医療支援

内藤院長ら3名がDPATとして熊本県へ

令和8年熊本地震の発生を受け、ときわ病院から内藤院長含む3名の職員がDPAT（災害派遣精神医療チーム）の一員として熊本県に赴きました。現地では被災した精神科病院の機能状況を把握し、避難を余儀なくされた患者さんを元の病院へ安全に戻すための調整を実施。また、各医療機関に必要な支援が行き届いているかを確認し、精神科医療支援の統括的役割を担いました。今回のDPAT活動で得られた経験を今後の災害時支援や日々の精神科医療にも生かし、「いつ起こるか分からない災害に備え、精神科医療の立場から地域を支える」取り組みを続けていきます。





「祭りだワッショイ！」

～笑顔あふれる夏のひととき～

ときわ病院の療養病棟では、季節を感じていただけるよう、四季折々のレクリエーション行事を開催しています。



8月には「夏祭り」を開催しました。職員が心を込めて製作した神輿を担ぎ、「祭りだワッショイ！」の元気なかけ声とともに、患者さんからの歓声も上がり、半被を着て盆踊りを楽しむなど、病棟は夏祭りらしい活気に包まれました。患者さんの笑顔や楽しそうな表情がたくさん見られ、職員にとっても心温まるひとときとなりました。

食養課だより

患者さんに季節の変化を感じていただけるように
ときわ病院では行事に合わせた食事を提供しています。

秋分の日行事食

さつま芋ご飯



おはぎ



秋分の日には、おはぎを食べる習慣があります。

嚥下機能が低下した患者さんには、
裏ごし食・ミキサー食など、嚥下機能に
合わせた食事形態で提供しています



秋の食事のマメ知識

秋は、さつまいも、きのこ、鮭、さんま、柿など、おいしい食材が豊富な季節です。おいしいだけでなく、きのこ類やさつまいもには食物繊維が多く含まれており、お腹の調子を整える作用も期待できます。旬の食材はその時期においしく食べられるだけでなく、季節の変化に合わせた食生活を楽しむきっかけにもなります。「旬を楽しむ」ことも、毎日の食事を豊かにする大切なポイントです。

無料個別相談のお知らせ

ときわ病院では第3土曜日10時から無料で個別相談を行っています。
予約は不要です。お気軽にお越しください。

10月17日(土)【障害福祉サービスについて】 担当：地域活動支援センター、グループホーム

11月21日(土)【介護保険等、高齢者対応について】 担当：地域連携室

12月19日(土)【デバクアオープンDay「精神科デイケアをご存知ですか」】 担当：デイケア



ときわ病院

〒921-8834
石川県野々市市
中林4丁目123

お問い合わせ
(地域連携室直通)



076-248-9502

受付時間：月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:30